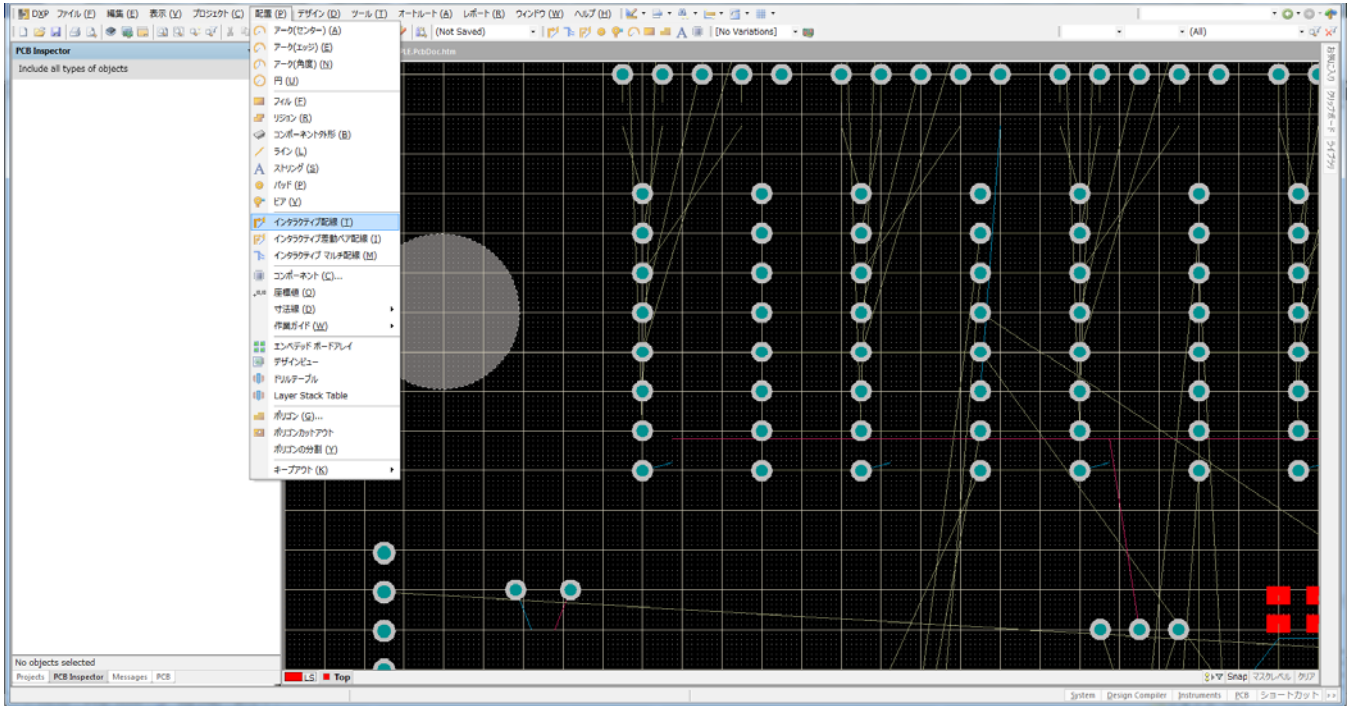
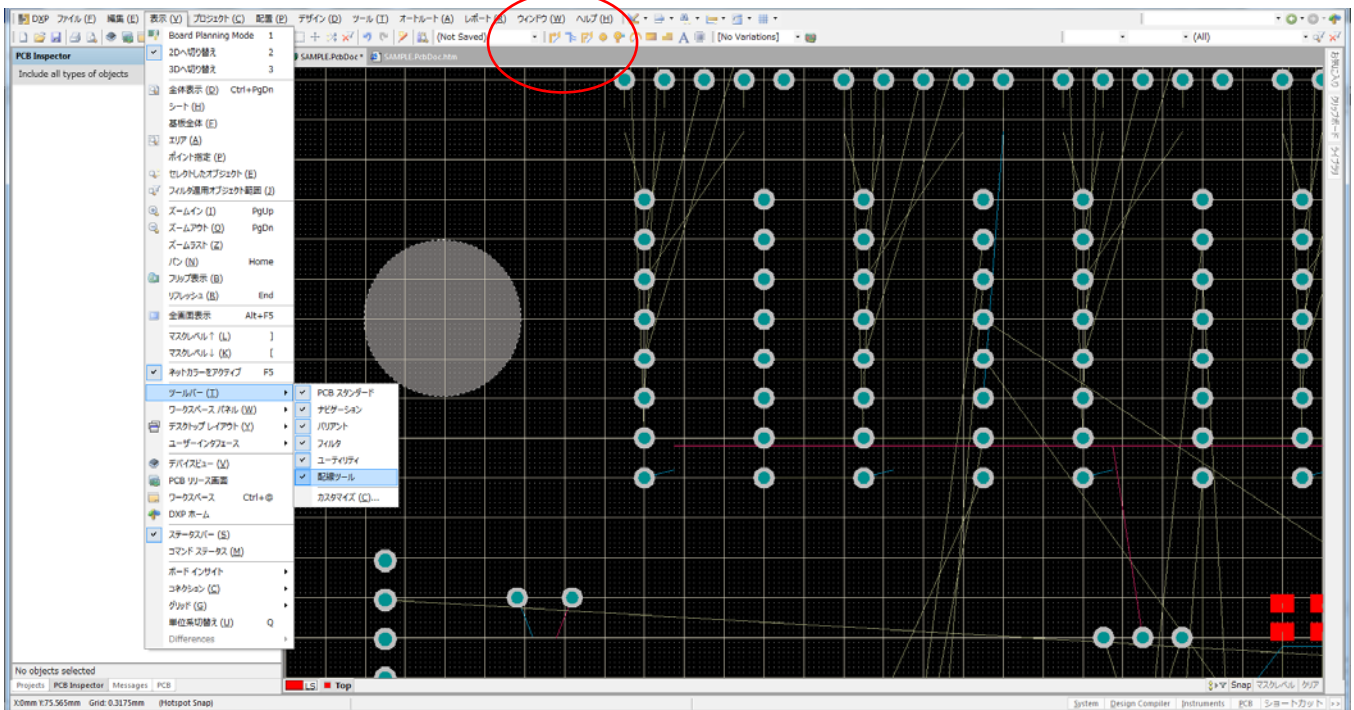


配線 配置 >> インタラクティブ配線

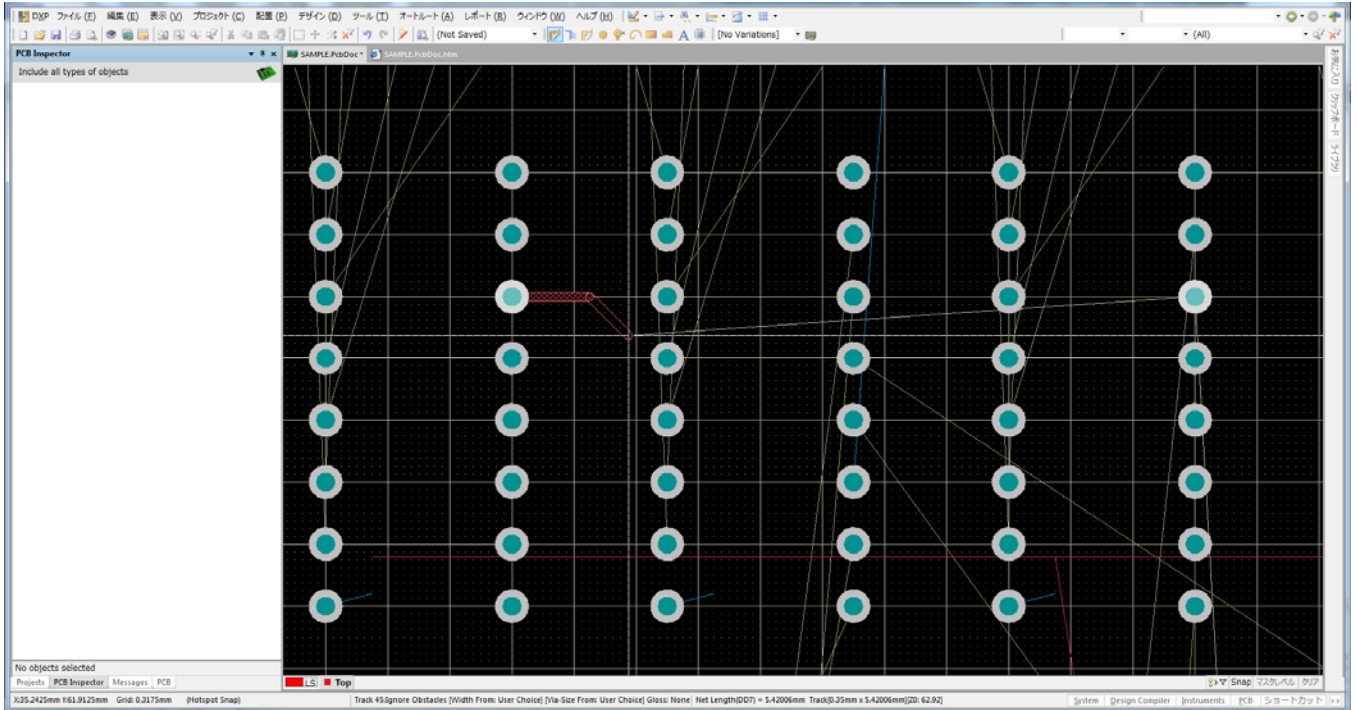


表示 >> ツールバー >> 配線ツール

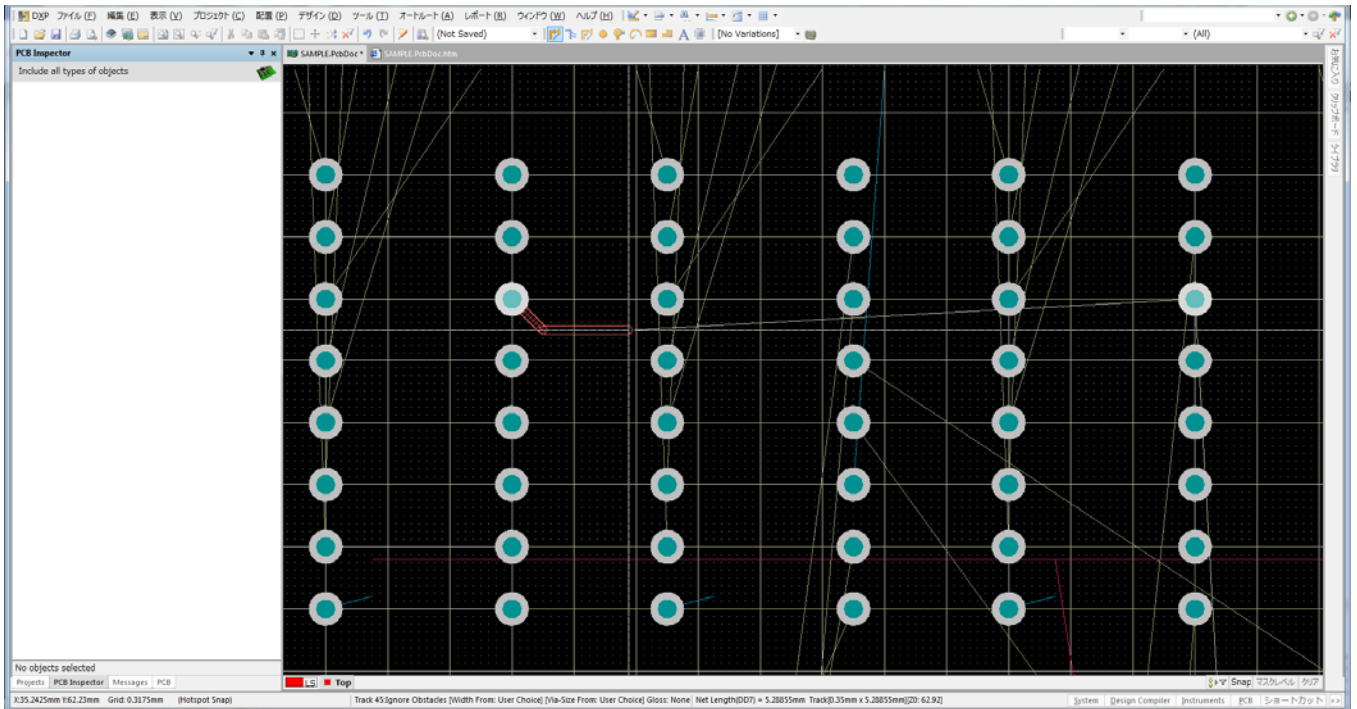


赤印：インタラクティブ配線をクリック

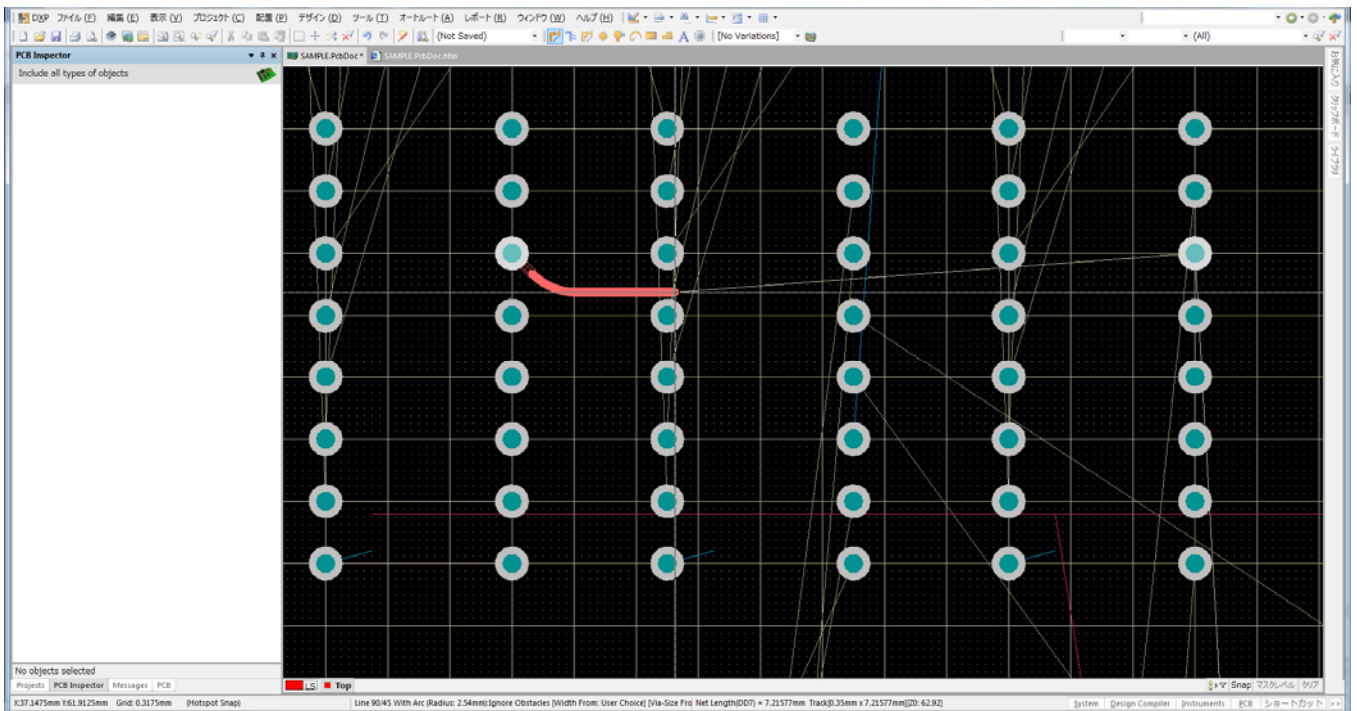
ラッツにマウスを合わせクリック 配線モードになる



キーボード スペースキーを押すと始まりの配線方向が変わる。

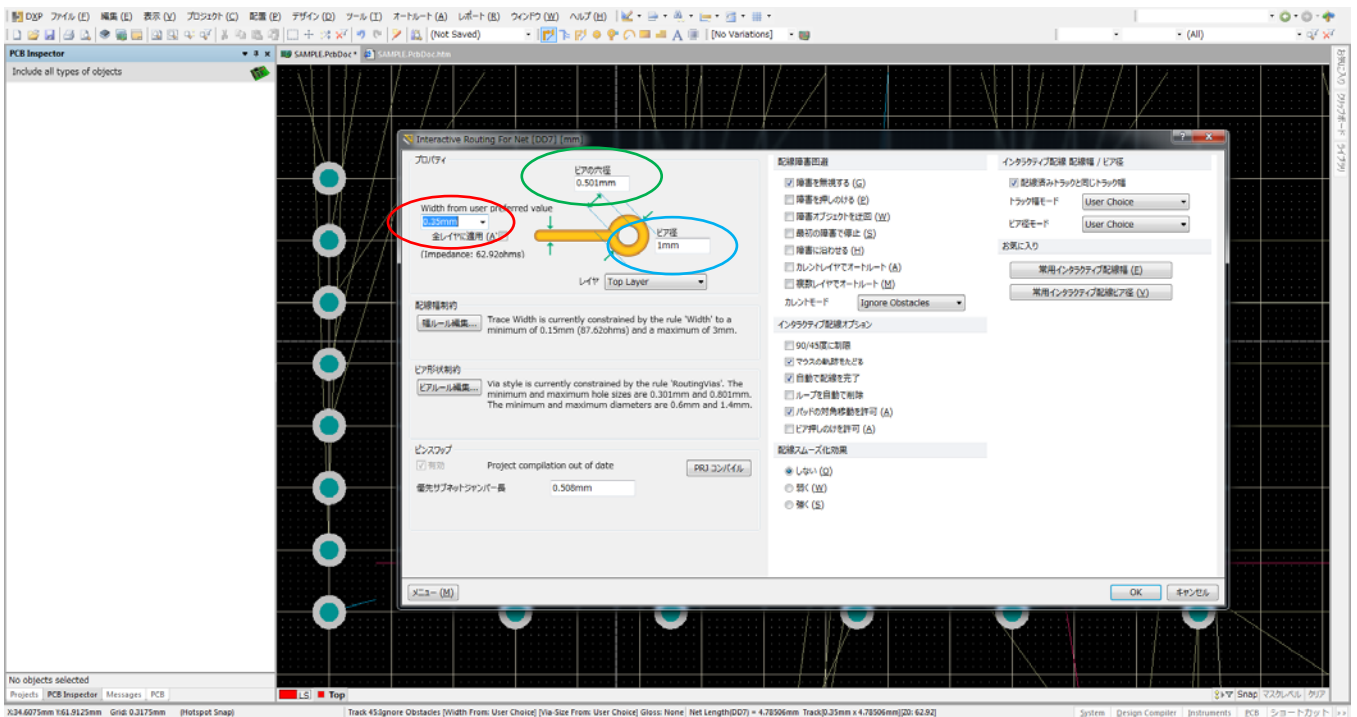


「Shift」 + 「スペース」 で配線角度が変わる



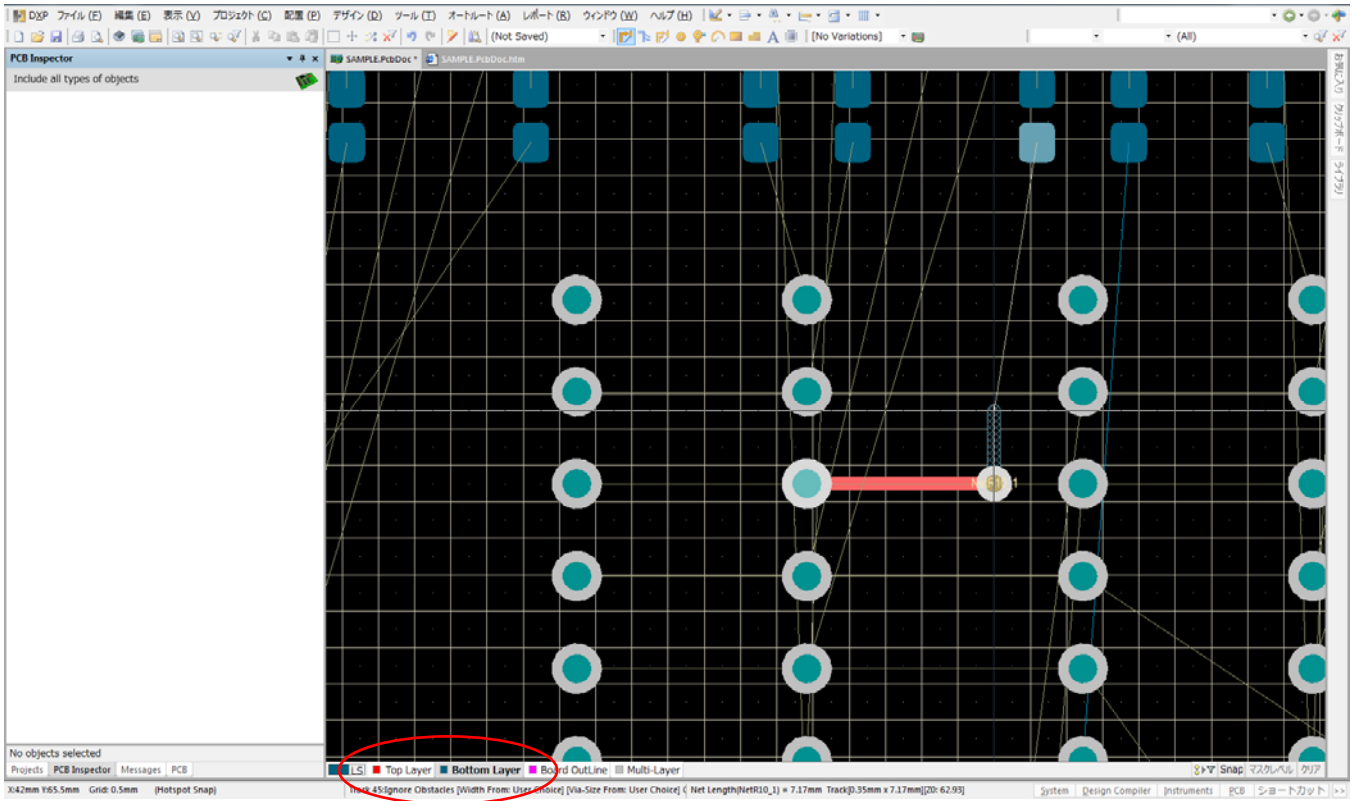
45° → 円弧付き45° → (上記) → 90° → 円弧付き90° → フリー

線幅の設定 配線モードで「Tab」キーを押す



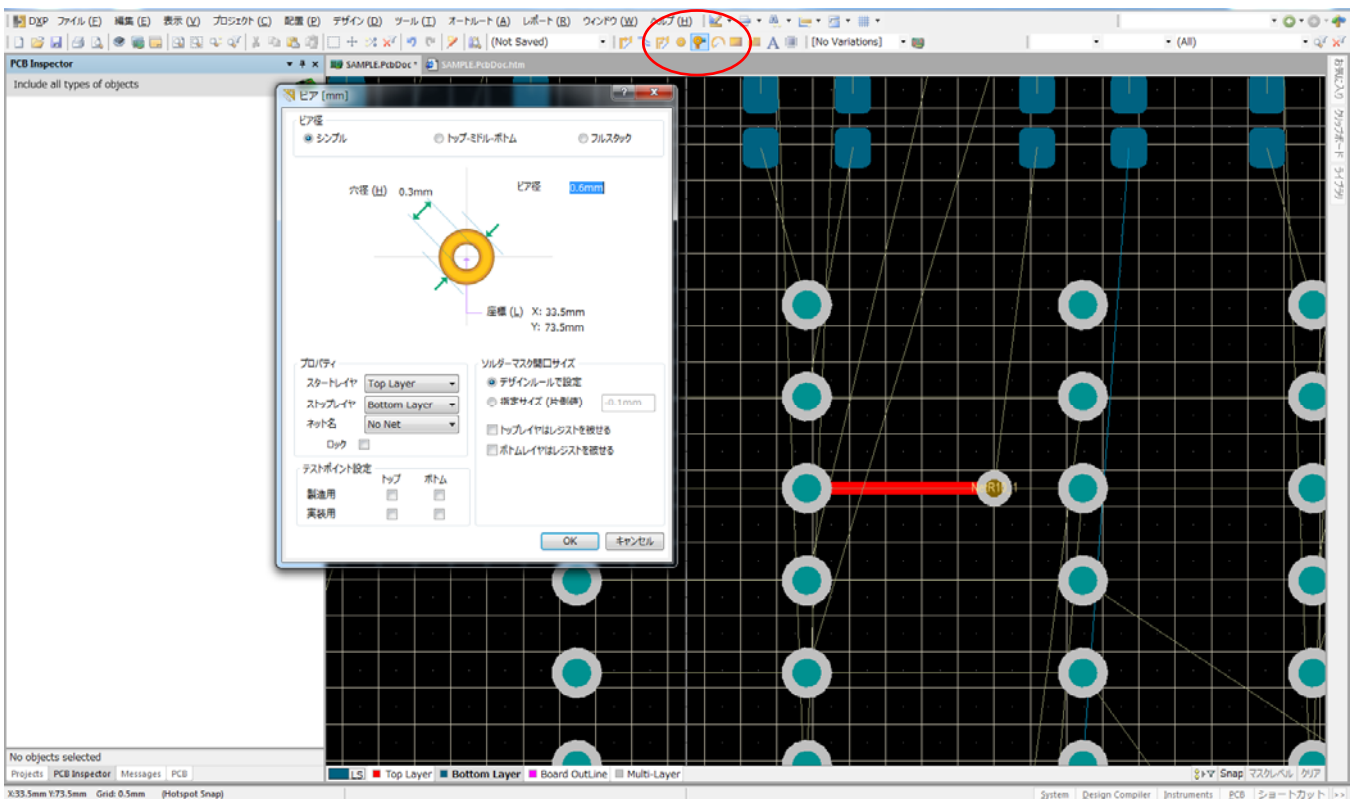
- 赤印：線幅を入力
- 緑印：VIA 穴径
- 青印：VIA ランド径

VIA の配置



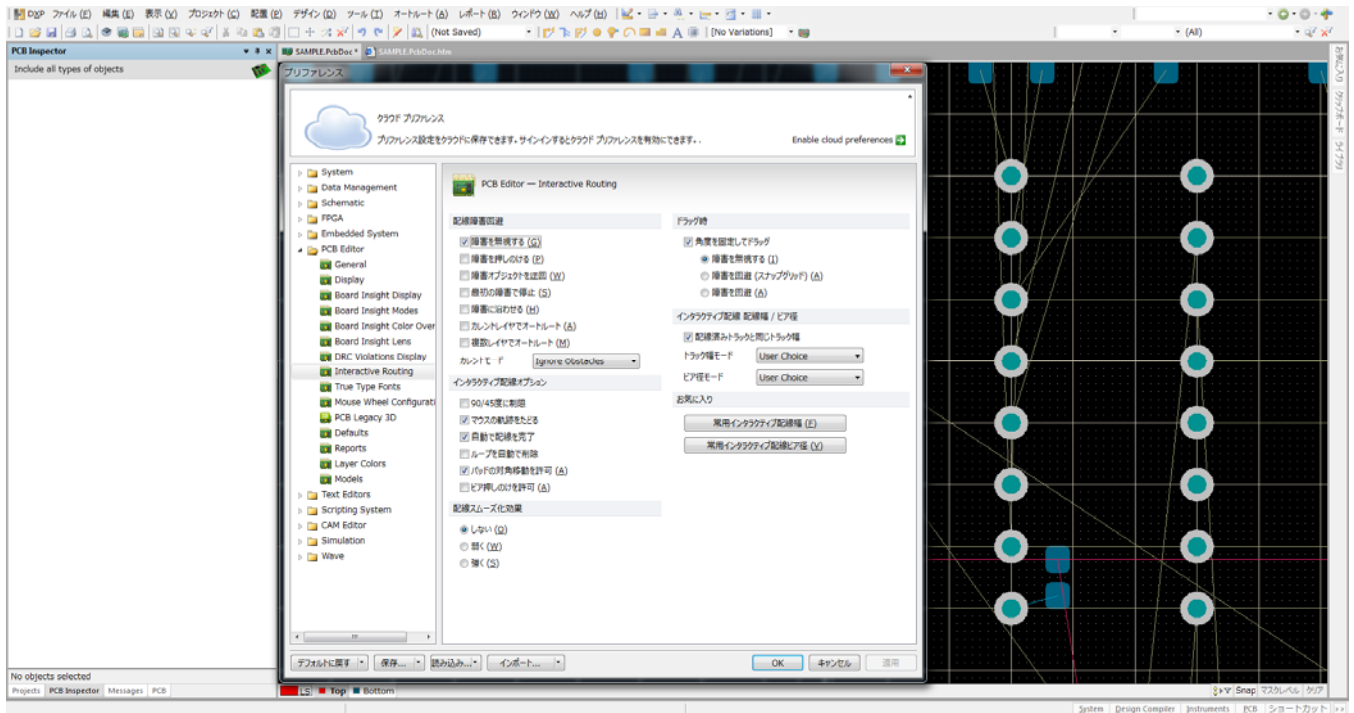
配線モードでラインを引き、VIA を打ちたい所でクリック、そのままキーボードの「*」を押す。
 「*」は配線層を変えるキーなので配線層を表示しておく（赤印）

VIA の配置 赤印



「Tab」キーで設定画面

プリファレンス >> Interactive Routing



配線障害回避

障害を無視する チェック有り

その他は場合によってチェックを入れる

ドラッグ時

障害を無視する

その他は場合によってチェックを入れる

インタラクティブ配線オプション

自動で配線を完了 チェック有り

ループを自動で削除 チェックを入れない

(場合によってチェックをいれる：配線ルートを変更する時、新しいルートにパターンを引くと元のルートのパターンを自動で削除。しかし、電源やGNDなど多数接続がある場合1箇所をルート変更すると、他の箇所も自動で変更してしまいますので注意！！)

パットの対角移動を許可 チェック有り

パターン幅と許容電流

電流 (A)	導体厚 18 μ	導体厚 35 μ
0.5	0.5	0.3
1.0	0.8	0.4
1.5	1.3	0.7
2.0	2.0	1.0
3.0	3.0	1.3
4.0	4.5	2.2
5.0	6.3	3.5
6.0	8.0	4.0

一般に 1 A = 1 mm として考えるが、太パターンができない時など上表を参考にする。

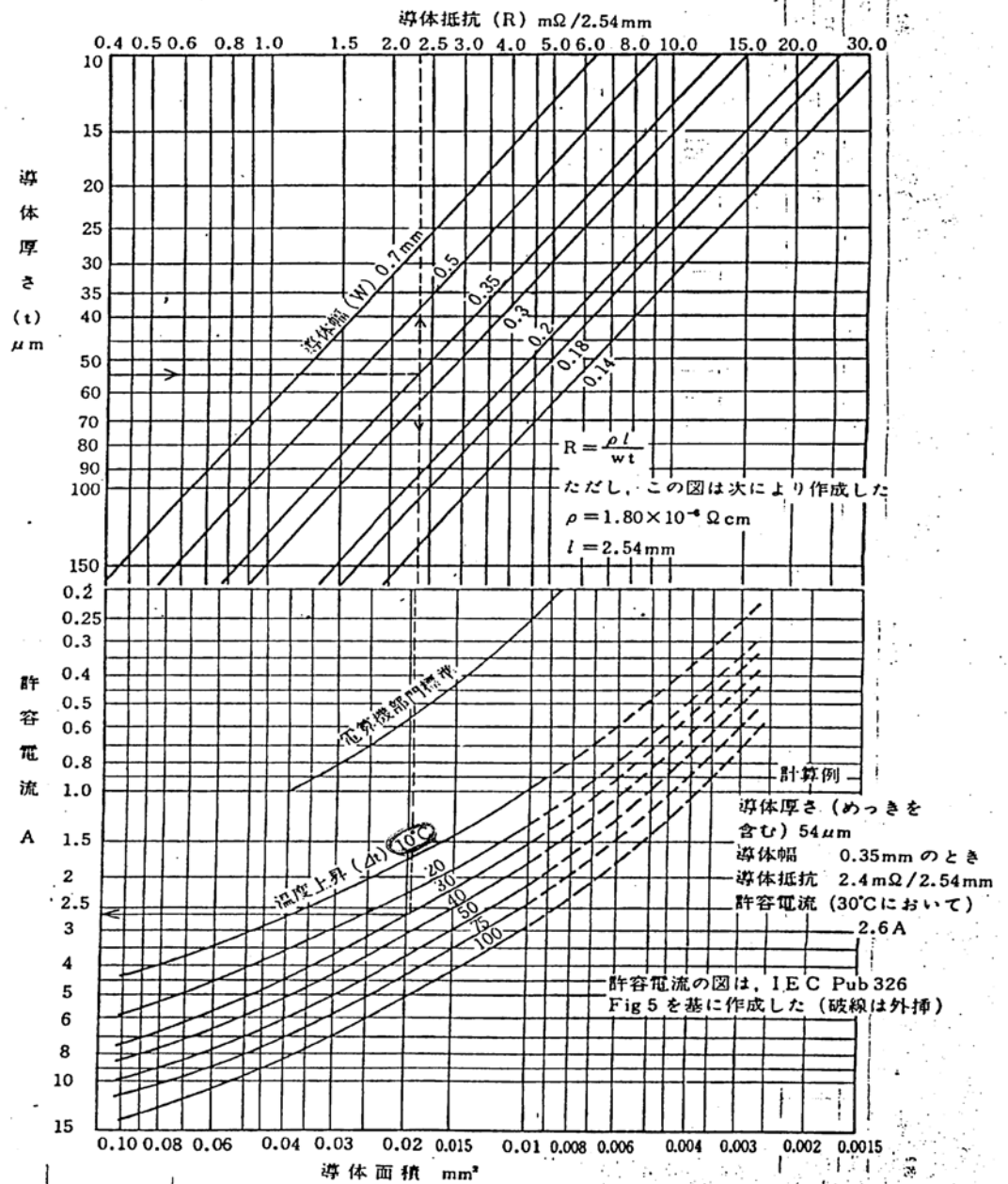
Via 径と許容電流 (一穴あたりの電流の参考)

仕上り径	φ 0.25	φ 0.3	φ 0.8
ドリル径	φ 0.3	φ 0.35	φ 0.85
断面積	0.022mm ²	0.026mm ²	0.065mm ²
許容電流 (A)	0.65A	0.7A	1.3A
一般値 (A)	0.5A	0.5A	1.0A

温度上昇によるパターン幅 (参照)

両面めっきスルーホールプリント配線板設計基準
解 説

付図1 導体抵抗・許容電流



仕上り径	φ 0.25	φ 0.8
ドリル径	φ 0.30	φ 0.85
断面積	0.022mm ²	0.0648mm ²
許容電流	0.65A	1.3A
	0.5A	1.0A